



「感謝と挑戦」

— 元気なクラブを作り、仲間の輪の拡大に繋げよう —

国際ロータリー第2790地区 2016-17年度
ガバナー 青木 貞雄 (成田コスモポリタンRC)

A. 最初に

国際ロータリー第2790地区の皆様には、新たな気持ちで2016-17年度のスタートを迎えられたことと思います。浅学菲才の私ですが、皆様のために何が出来るか、何をしなければならないかを考え、ガバナー補佐、地区委員会メンバー、及び幹事長を始めとする幹事団と力を合わせ、元気なクラブの創設、そして地区の発展に取り組んでまいり所存です。

さて、ジョン F. ジャームRI会長は、テーマ講演の中で、P. ハリスのロータリー創設の目的「価値観を分かち合える人を見つける」は現在も生きている。大切なのは、誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を重んじ、人類への奉仕が人生最大の目的と信ずる人と出会うことであり、私はP. ハリスと同様、人類の最大の目的は人類に奉仕することだと信ずると述べ、今年のRIテーマに「人類に奉仕するロータリー」を掲げました。同時に、ロータリーが近年取組む「ポリオ完全撲滅」を対外的な、そして、「会員増強」を対内的な最重要取組事項としました。

世界の200を超える国・地域に約34,000のロータリークラブがあり、各々が独自の考え、地域特性等に基づく活動を目指しているためか、本年4月の規定審議会では、ロータリーの根幹見直しに繋がると思われるいくつかの規定変更が決議されました。しかし、ロータリーの基本理念に則った上での新しい時代への挑戦を目指すRI会長の考えに基づき、私は、ロータリーの起源である職業奉仕を基盤とし、活動の基本となる「会員がロータリアンになって良かったと思うようなクラブの活動・運営」具現化、及び「元気なクラブの仲間の輪の拡大」への挑戦に、皆さんと一緒に取組んでまいりたいと考えています。ロータリー活動は、会員の皆さん、そしてクラブの活動によって成り立つため、私を始めとする地区は、皆さんの活動支援が主となりますが、「元気なクラブ」、そして「元気な国際ロータリー第2790地区」を、皆の英智と汗によって創設しましょう。

B. 地区の運営方針、及び行動計画

1. 地区行動指針「感謝と挑戦」

a) 元気なクラブの創設

RI会長は、ロータリーへの入会を勧誘

された時点で、私達は、素晴らしい仲間と出会い、そして人のために役立つことをする大きな機会を与えられると述べました。ロータリアンである私達は、この大きな機会を与えられたことに感謝し、自らの人間性を高めると共に、人のために役立つことに取り組むべきと考えます。

その原点は、充実した魅力ある例会の構築ですが、自らがロータリアンになって良かったと思うようなクラブの活動・運営を皆と協力して具現化するのも奉仕の一環です。元気なクラブを実現すれば、皆さんはロータリアンになったことに感謝の念を持つと共に、自信を持って感謝の気持ちを分かち合う仲間の輪の拡大に挑戦することが出来ます。

地域特性等もあり、各クラブが置かれている現状は多種多様ですが、課題を解決できない理由を探すのではなく、次年度のテーマ「人類に奉仕するロータリー」具現化に向け、その源となる元気なクラブを作り、仲間の輪の拡大を含めた課題解決に挑戦して下さい。地区には、地区大会記念ゴルフ大会、地区野球リーグ、二輪車同好会等、クラブを超えた会員の趣味・特技を発揚する場がありますが、会員間の仲間意識強化、また、新しい仲間の発掘に資するこれら同好会活動推進にも努め、ロータリー活動の魅力高揚を図ります。

b) 仲間の輪の拡大

当地区会員数は、1995年の4,350名をピークに逡減し、2012-13年度には底を打ちましたが、未だ明確な回復基調に転じたとは言えない状況で、現在は約2,800名です。この結果、昨年度スタート時点（2015年7月1日現在）では、地区84クラブの半分の42クラブで会員数が30名を下回り、その中の16クラブは会員数20名未満（9クラブは10名以下）でした。少人数でも、ロータリーの目的を忠実に実践し、積極的に活動を展開しているクラブもありますが、会員

数が少ないと活動は自ずと制約されると同時に、会員の加齢は確実に進行するので、新規会員、特に若手会員の加入無しには将来の活動が一層厳しくなります。当地区では、近年、100名を超える新規会員が毎年誕生しますが、同時に、ほぼ同数の会員が退会しており、その多くは、高齢者、及びロータリーについての理解・知識を未だ身に付けていない入会2～3年の会員です。斯かる現状を勘案すると、私達が取り組むべき喫緊の課題は、新規会員の勧誘よりも、ロータリアンになって良かったと思うような魅力あるクラブの活動・運営、及び、会員、特に入会后日の浅い会員への研修を通じてロータリー活動への理解・関心を高め、仲間の退会極少化に努めることだと思います。そして、仲間の輪の拡大に挑戦しましょう。皆さんには、RIの会員純増目標「会員数50名未満のクラブは最低1名、会員数50名以上のクラブは2名以上」への挑戦をお願いします。

会員増強には「質か量か」の議論がつき物ですが、RI会長も述べている通り、ロータリーの目的を理解・実践出来る人、あるいはその資質を潜在的に有している人であれば、誰でもロータリアンの資格を有しています。ロータリーに加入した人を立派なロータリアンにするのは、私たちロータリアンの責務です。私たちは、ロータリーの歴史的変遷を研究し、また、その高邁な理念を追求する仲間も必要ですが、ロータリー活動を通じて自らを高め、あるいは、出来る範囲で他の人のために役立ちたいと考えている色々な職業の人、また多岐に亘る経験を積んだ仲間も必要です。会員が多いほど、奉仕活動を含めた活発な活動の展開、及び、多くの素晴らしい仲間と知り合うことが出来ます。そして、地域における知名度

向上にも貢献します。

尚、会員研修は、会員歴の浅い会員が多数参加出来るよう、ガバナー補佐の企画・主催により分区単位で10月～11月に開催し、運営は地区ロータリー研修委員会が担います。この結果、IMの開催は、年明けに戻ります。

2. 地区奉仕活動の活性化とポリオ撲滅への取組
私達のR財団寄付の50%は3年後にDDF(地区財団活動資金)として地区に還元され、地区奉仕活動補助金、ポリオ基金等に活用されます。また、米山記念奨学生の地区割当人数は地区寄付額に基づきます。1917年に誕生したR財団が今年度創立100周年を迎えるにあたり、当地区が2014-15年度に解消した寄付ゼロ・クラブを今年度も継続すると共に、R財団一般寄付150米ドル/人、及び米山記念奨学会寄付15,000円/人の地区目標達成に皆様のご協力をお願いします。

3. 地区組織

- a) ガバナーを委員長とし、直前ガバナー、ガバナエレクト、及びガバナーノミネー、並びに関係幹事長で構成する「戦略計画委員会」を新設し、RI長期戦略を始めとする長期に亘り取り組むべき課題、戦略方針等を検討します。
- b) ROTEX及び元IA・RA、元地区・グローバル奨学生及び元平和フェローシップ奨学生、並びに米山学友会会員等の一元管理を目的とする「学友会委員会」を奉仕プロジェクト統括委員会管轄下に独立設置する。

4. 複数クラブ合同ガバナー公式訪問

各クラブの活動状況把握はガバナー補佐の責務とし、RI会長が求める情報・クラブの課題共有化等に資する複数クラブ合同ガバナー公式訪問を推進すべく、各クラブに協力を要請した結果、3クラブ合同が6回(18クラブ)、2クラブ合同が28回(56クラブ)、単独が28クラブとなりました。

略 歴

氏 名	青木 貞雄 (あおき さだお)	ロータリー歴	
生 年 月 日	1942年5月6日	1998年7月	成田コスモポリタン入会
職 業 分 類	学校法人 (入会時は国際貨物サービス)	2004-05年	クラブ会長
	(学)日出学園理事長・学園長	2005-07年	地区社会奉仕委員会委員
最 終 学 歴	学習院大学政経学部経済学科	2012-15年	地区野球リーグ会長
職 歴	1965年4月日本航空(株)入社	2013-14年	地区クラブ奉仕委員長兼 会員増強委員長
	1990年7月メキシコ・中南米地区支店長	2014-15年	第9分区ガバナー補佐
	1993年7月貨物本部営業部長	2015年3月	地区ガバナーノミネー
	1997年6月日航貨物ターミナル(株)社長	2015-16年	地区ガバナーエレクト
公 職	1992年メキシコ日本商工会議所会頭	認証	R財団メジャードナー